

アドフラット

- 工事現場と同じ環境との調和を考え開発し、永い間みなさまに愛され仮囲いの定番品となりました。デザイン性と利便性が評価されグッドデザイン賞（ロングライフデザイン）を受賞しました。



現場と環境を調和します

凹凸がなく、真っ白なアドフラットホワイトを使用することで、工事現場と環境との美しい調和を実現させることができます。

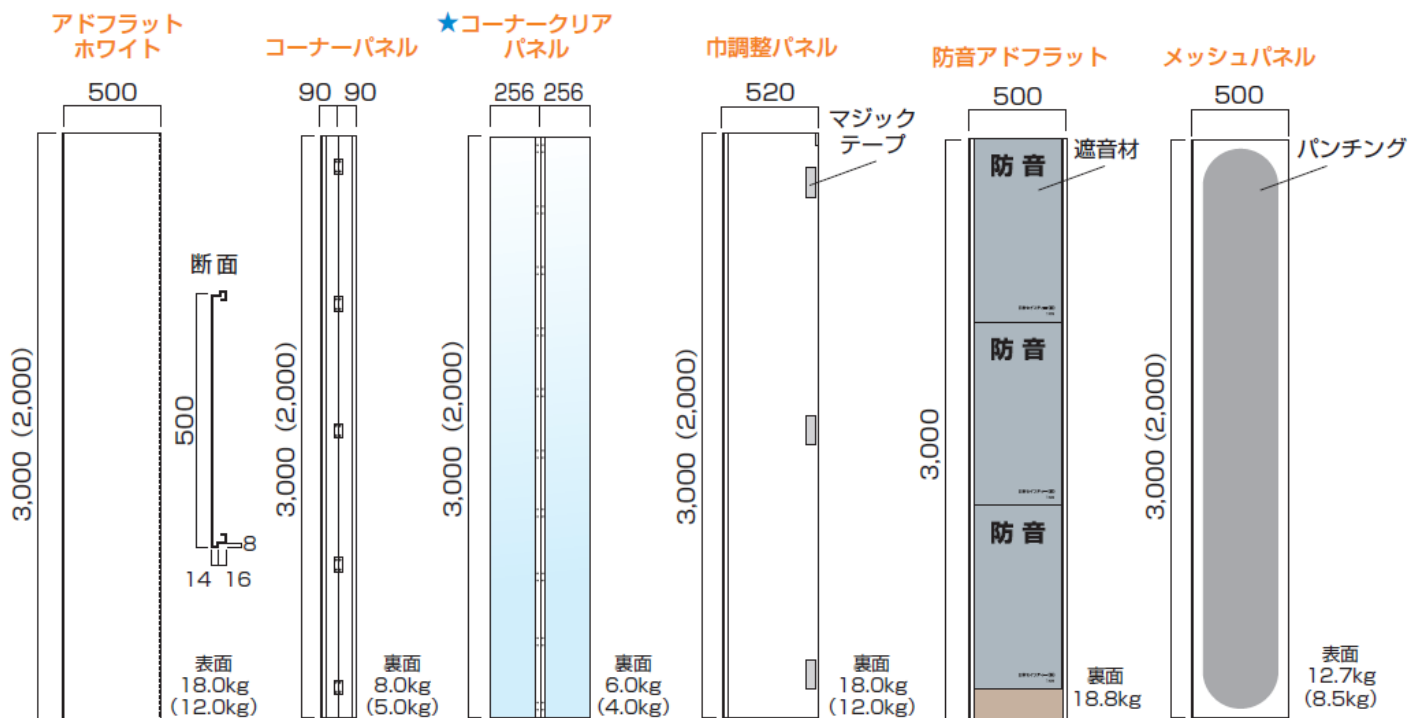
デザイン

表面がフラットなので広告媒体として利用が可能です。

安全性に優れた面板

表面に突起物が無いので衣類や身体の一部をひっかける心配がありません。

製品図



★マークは、販売品となります。

Jフック



0.1kg

アドフラットの裏端部にひっかけ、単管をまたがせてボルトで締め付けます。

ジョイント金具L



0.16kg

巾調整パネル・コーナーパネルを取付ける際に使用します。この金具でアドフラットにしっかり固定させます。

ジョイント金具S



0.07kg

巾調整パネルを取付ける際に使用する金具です。アドフラットと巾調整パネルの下部を固定させます。

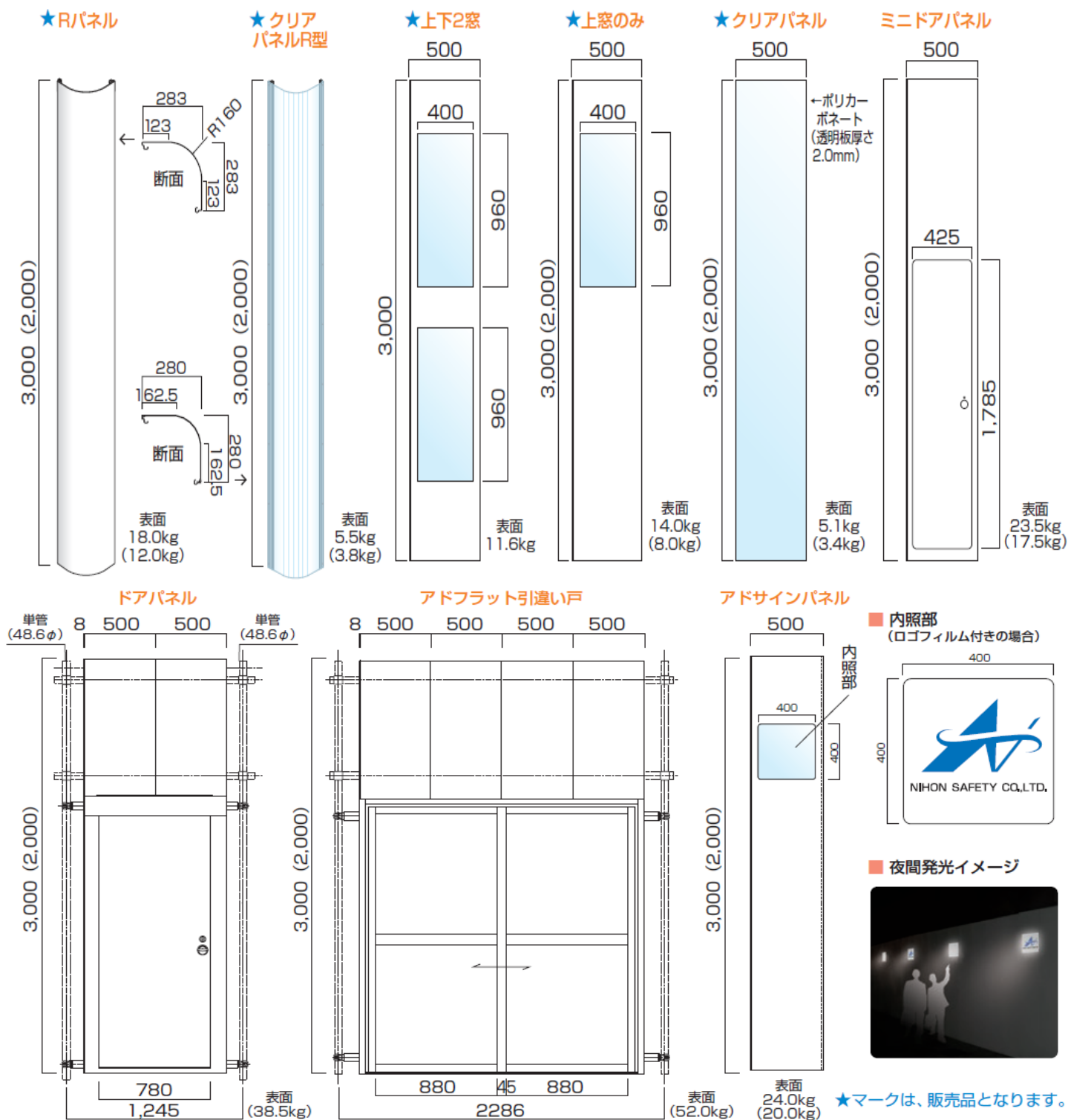
アドフラットの出荷状態

出荷時は写真の様に軽量ラックに入っています。



※ご返却の際は納品時と同じ様に軽量ラックにセットして下さい。

製品図



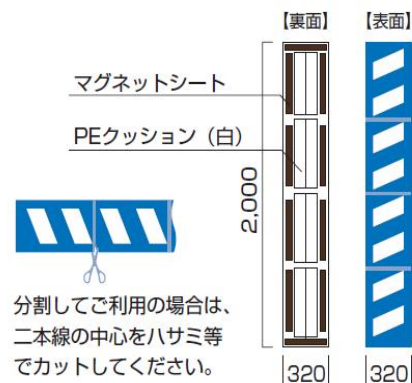
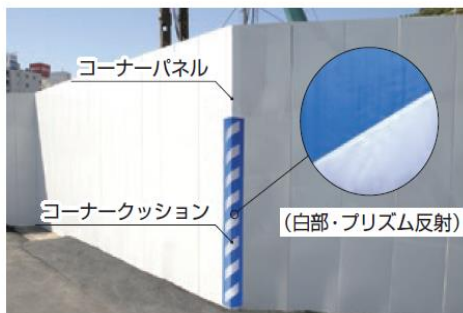
コーナークッションマグネットタイプ (販売品)

マグネットで取付け簡単
危険表示と衝撃防止の2役
高輝度反射で、反射力アップ

規格物性

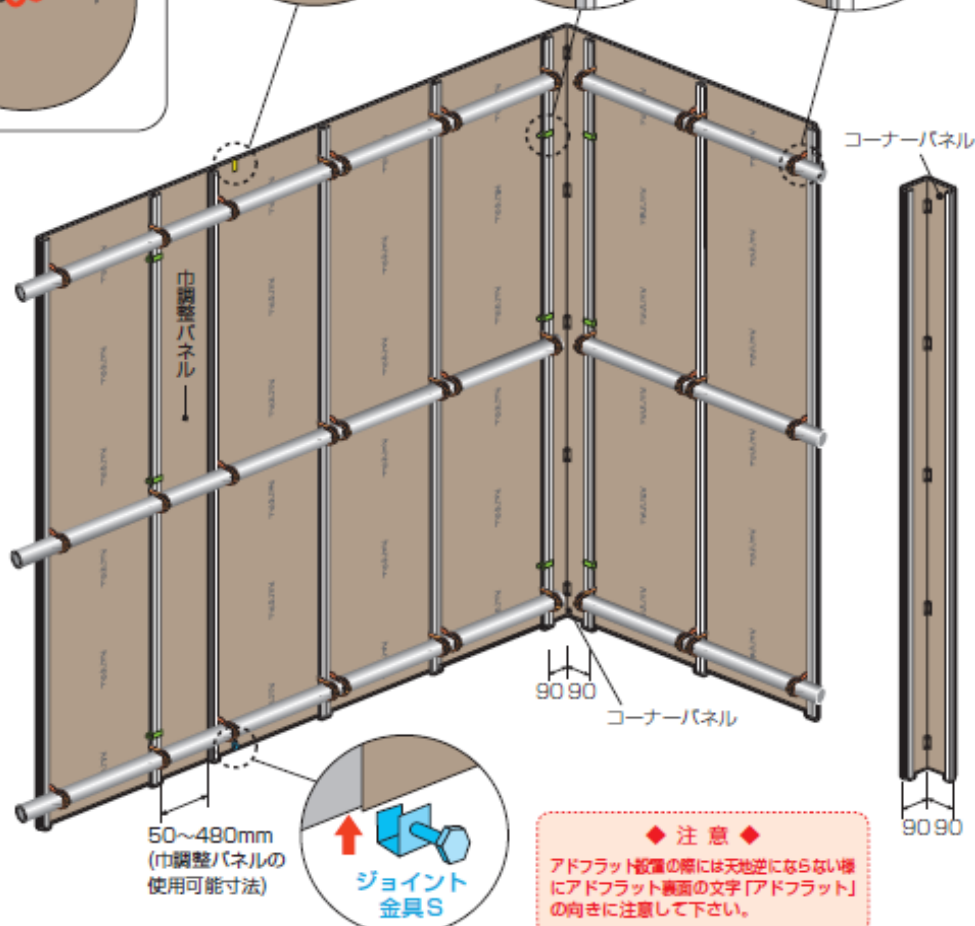
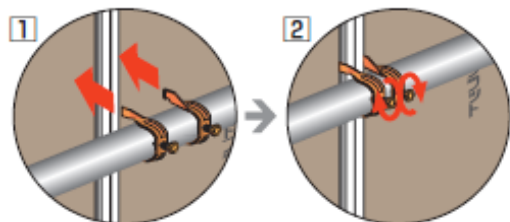
材質	本体: PVC 裏面: クッション・PE ゴムマグネット
寸法	巾320mm×高さ2000mm

コーナークッション設置イメージ



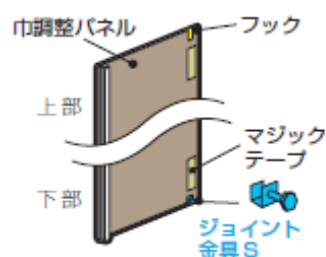
アドフラット(Jフック)の使用方法

- Jフックを単管にまたがせ、アドフラット裏面に爪を引っ掛けます。
- Jフックのボルトを締め、アドフラットを単管に固定します。



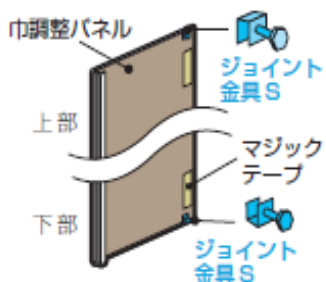
巾調整パネル取付け方法

【上部フック留めの場合】



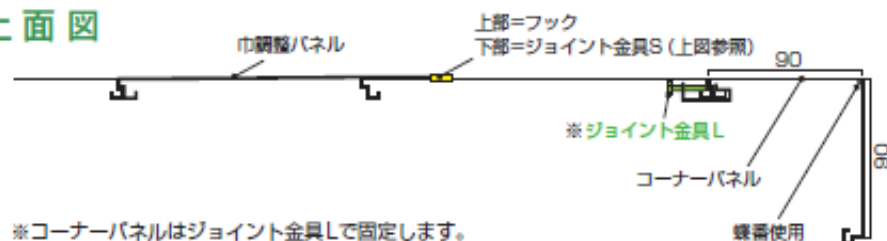
- フックを隣のパネル上部にかける。
- 位置を合わせてジョイント金具Lで隣のパネルと固定する。
- マジックテープのシートをはがし隣のパネルに巾調整パネルを密着させる。
- 下部をジョイント金具Sで締め付けて仕上がりです。

【ジョイント金具S留めの場合】



- 位置を合わせてジョイント金具Lで隣のパネルと固定する。
- マジックテープのシートをはがし隣のパネルに巾調整パネルを密着させる。
- 上部・下部をジョイント金具Sで締め付けて仕上がりです。

上面図

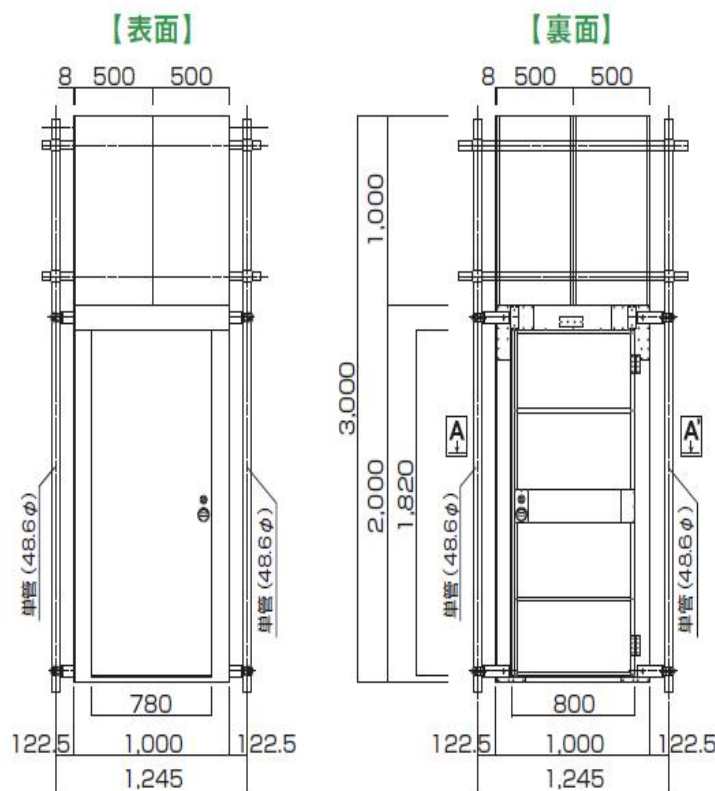


アドフラット必要金具数量

	アドフラット 窓付パネル クリアパネル		巾調整パネル		コーナーパネル ミニドアパネル	
	2 m	3 m	2 m	3 m	2 m	3 m
Jフック	4	6				
ジョイント金具L			2	3	4	6
ジョイント金具S			1	1		

※巾調整パネル上部固定をジョイント金具Sで行う場合は、数量2になります。

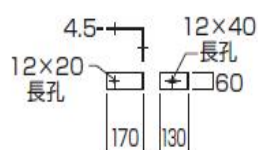
ドアパネルの主な仕様



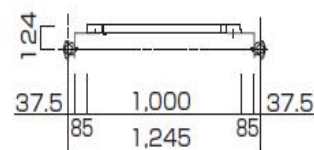
■ドアパネル設置写真（表側）



【固定具-1 詳細図】



【A-A' 断面図】



ドアパネル使用の手引き

■ ドアパネルの取付け方法と取付け手順

- ① 梱包解体後、地面に水平に仮置きした状態で、ドアパネルの四隅の“固定具-1”をM10ボルトおよび座金にて、所定の位置に仮留めする。
- ② ドアを垂直に立て、左右前後水平になるように調整し、四隅の“固定具-1”を単管に本締めする。
(単管への取付け状況は、製品図参照)
- ③ 設置後のドアパネルの上に、アドフラット標準パネルをセットし、金具にて単管に取付け、ドアパネル上部を形成する。
(3m高さのアドフラットの場合、1m長さの標準パネルを2枚使用する)

■ ドアクローザー（オプション品）の取付け方法と手順

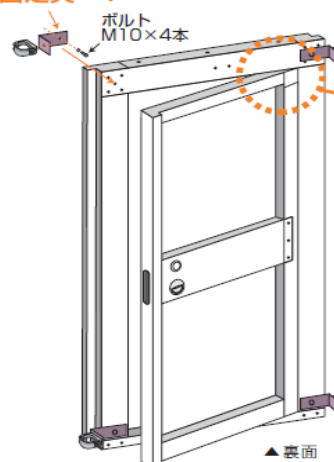
- ① ドアを設置する。
- ② 取付ける前に、ドアパネルが正しく水平に設置されていることを確認する。
- ③ ドアクローザーは、ドアパネル設置完了後、付属のネジにて所定の位置に取付ける。

詳しくは「ドアクローザー取扱い説明書」を参照して下さい。

◆ 注意 ◆

正しく水平に設置されるよう注意して下さい。水平に設置されないと、ドア本体とドア枠に隙間が生じることがあります。
また、クローザーの調整が難しくなります。機種によっては、使用できないものがありますので、ドアクローザーは、弊社にご注文いただくか、営業担当者にお問い合わせください。

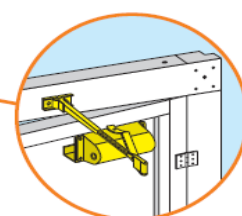
固定具-1



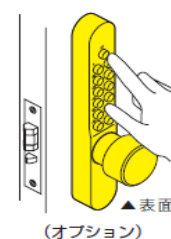
(ドアパネルは、ドア本体とドア枠より構成されます。)

● ドアパネル本体重量 : 38.5kg (H=2000)

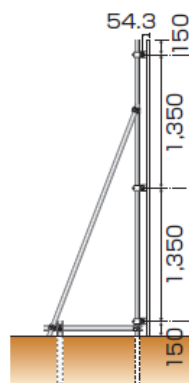
【固定具取付け】（イメージ図）



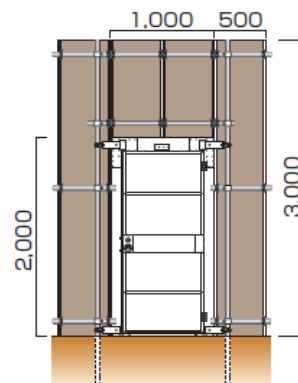
【ボタン式自動錠】（イメージ図）



【断面図】

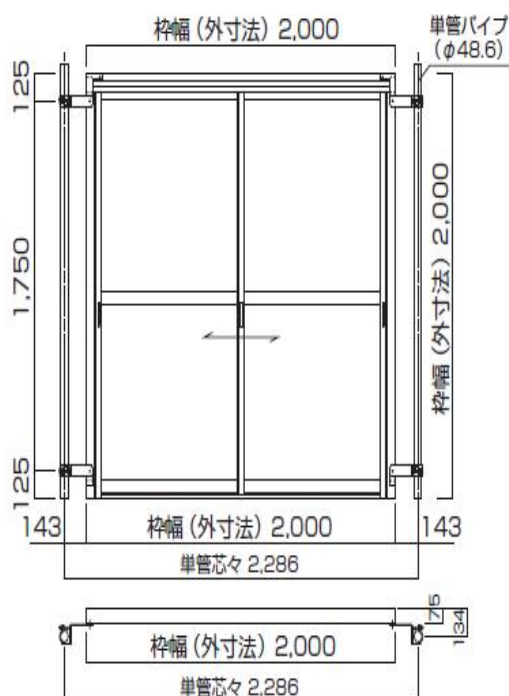


【立面図・裏面】

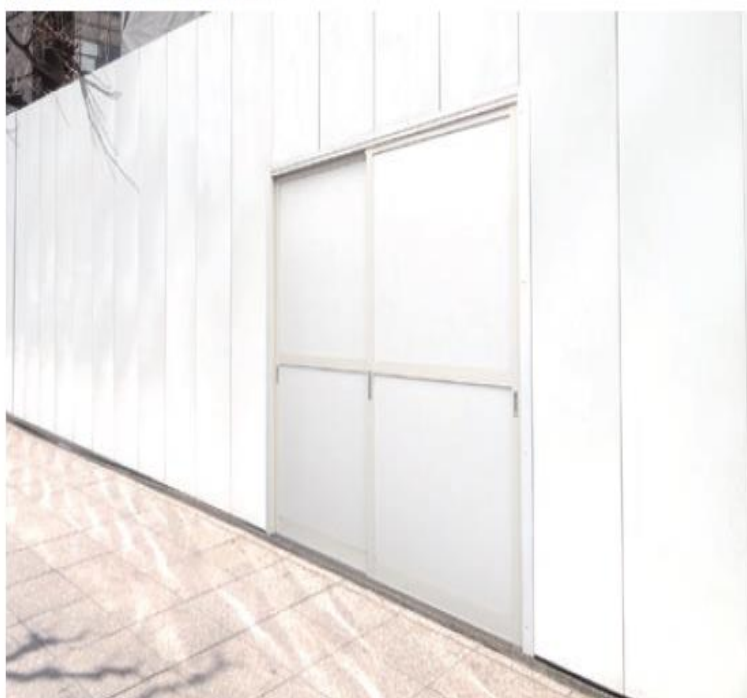


アドフラット引違い戸の主な仕様

【裏面】



■アドフラット引違い戸設置写真（表側）



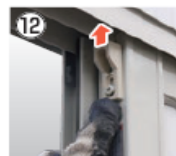
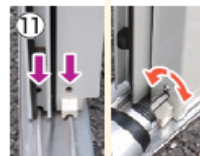
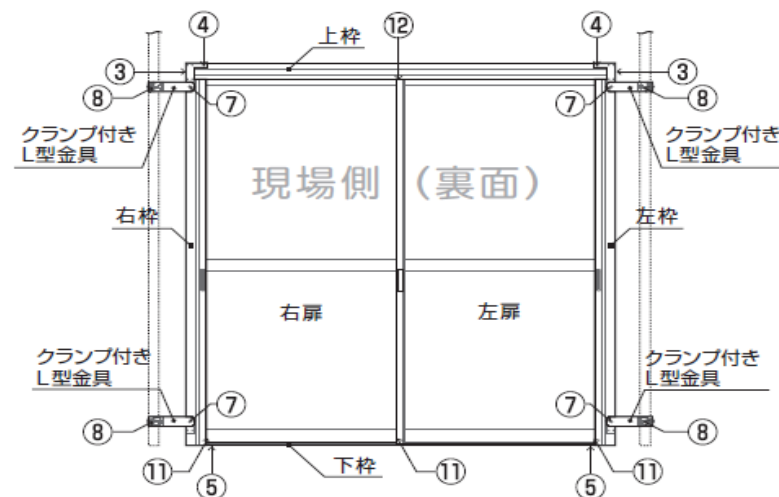
アドフラット引違い戸使用の手引き

■ ドアパネルの取付け方法と取付け手順

- ① 梱包を開梱し、内容物を確認して下さい。
- ② 裏面を上にして、それぞれの部材を表面が傷つかない様に台木等の上へ平置きして下さい。（右下写真参照）
- ③ 上枠と左（右）枠を組合せ、左（右）枠横内側からボルトを通し仮留めして下さい。
- ④ 左（右）枠プレート穴と上枠の上部穴位置を合せ、ボルト、ナットを取付け、仮留めして下さい。
- ⑤ 左（右）枠に取付けられたビスを取外し、下枠と左（右）枠を合せビスを取付けて下さい。（本締め）
- ⑥ 枠の形を整え、仮留めした上枠と左右枠の組立ボルトを本締めして下さい。
- ⑦ クランプ付き取付金具を組立てた枠に取付けて下さい。（4箇所）
- ⑧ 外枠を持ち上げ、取付金具のクランプを単管下地に固定して下さい。
- ⑨ 引違い戸の出幅を取付金具のクランプの調整穴で合せボルトで固定して下さい。（4箇所）
- ⑩ 現場側（奥）から扉を枠にはめて下さい。
- ⑪ 扉下部左右のコマ（車輪の高さ）を、扉が水平になる様、調整して下さい。（右部写真参照）
- ⑫ 扉上部の外れ止めを調整して下さい。（右部写真参照）
- ⑬ ドアの動作に問題がないか確認して下さい。

■ セット内容物

- ① 上枠・下枠・右枠・左枠・右扉・左扉・クランプ付きL型金具×4
（上枠全ての穴に接続用ボルトセット、左右枠穴にビスが付属しています。）

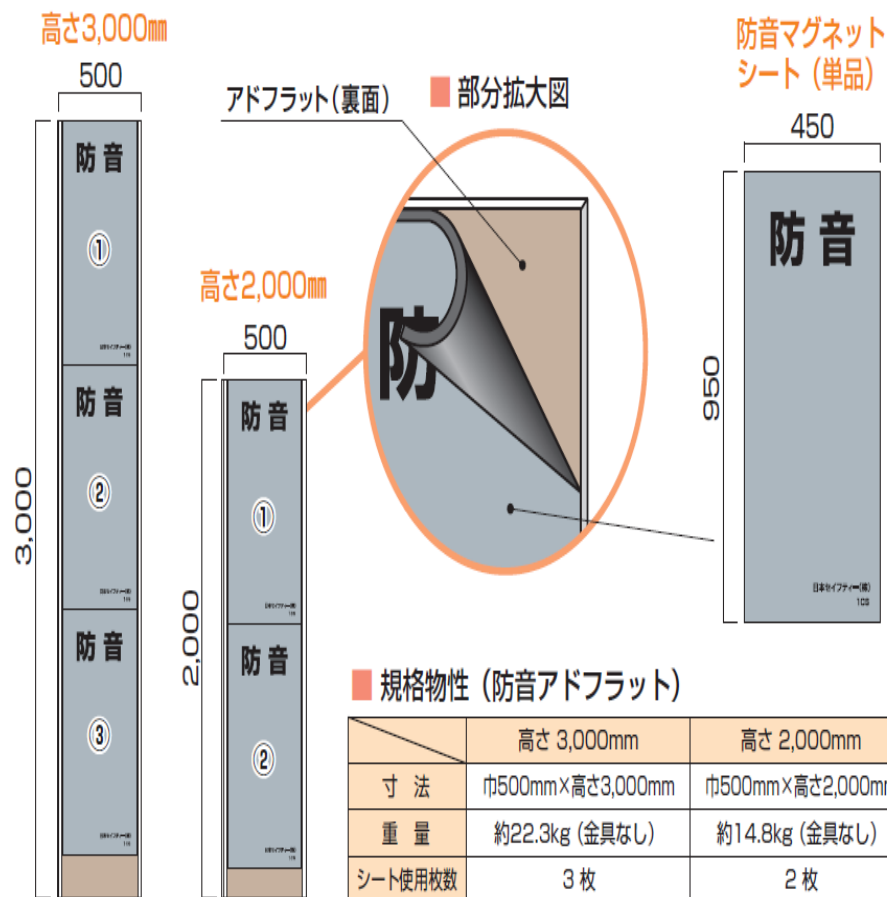


◆ 注意 ◆

- 1) 必ず水平に設置して下さい。扉が動き、怪我をする恐れがあります。
- 2) 引き違い戸に物を立てかけたり寄りかかったりしないで下さい。扉が外れ、事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 3) 外れ止めを確実に調整して下さい。扉が外れ、事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 4) 固定元となる単管は確実に固定して下さい。事故に繋がる恐れがあります。
- 5) ワッシャー・スプリングワッシャー等を紛失しない様に注意して下さい。
- 6) 外枠の持ち運びは、2名以上で行って下さい。
- 7) クランプを取付けている調整用のボルトは外さないで下さい。
- 8) 無理に動作させず、動きが悪い時は、再調整して下さい。
- 9) 扉の開閉、鍵の開閉、扉が外れないか確認して下さい。

防音アドフラットの主な仕様

●防音アドフラットは、アドフラットパネルに防音マグネットシートを施し、音を遮断。周辺の環境に配慮した新しいタイプの仮囲いです。



遮音性の向上

アドフラットパネルの特長をそのまま生かしながら遮音性能を更に高めます。

後付けができます

防音マグネットシートは磁力によりアドフラットを現場に設置したあとも簡単に取付け出来ます。

取付け金具不要

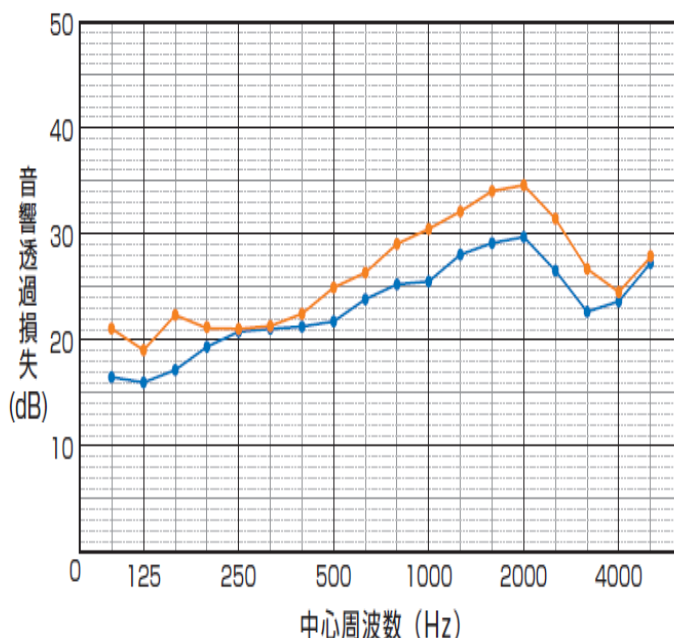
アドフラットの裏面に磁力でそのまま取付け出来るので取付け金具は必要ありません。

防音アドフラット・アドフラット性能データ

音響透過損失試験結果

音響透過損失 dB	中心周波数 Hz	125	250	500	1000	2000	4000
● 防音アドフラット		18.9	20.7	25.0	30.5	34.5	24.6
● アドフラット		16.1	20.7	21.8	26.6	29.7	23.7

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター



※ データは、アドフラットと防音マグネットシートを併用した時の数値になります。 ※ 音響性能の試験はJIS A 1416 (実験室における音響透過損失測定方法) に定める方法で測定しています。